

授業科目	* 老年看護学実習 I				単位	2		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護)		ナンバリング	NU31317J		
開講年次	3~4年	開講時期	後期・前期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-2			
担当教員	溝部 昌子、丸山 泰子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>老年看護は、対象である高齢者を、生物医学的意味だけでなく、その暮らしや考え、ライフヒストリーなどの多面的な視点から主体的存在と捉え、健康問題への対処のみならず、高齢者及びその家族が豊かな生を全うすることを支える役割がある。このため、加齢性の心身変化への対応、対象及び環境の詳細なアセスメント、専門的技術、調整の能力が必要であり、リハビリテーション看護領域で実践的に学ぶ。</p> <p>実務家教員として、高齢者看護・介護の実務経験のある教員が、患者の看護を通して患者アセスメント、患者とのコミュニケーション、様々な看護技術の提供を直接指導する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 生活機能を中心とした高齢者の全体像を捉えることができる。 加齢あるいは疾病等によりコミュニケーション能力が低下した高齢者と援助的な人間関係を形成できる。 高齢者の生活機能の回復あるいは維持・増進をめざした看護過程が展開できる。 リハビリテーション看護に関する技術を実践あるいは見学することで、看護実践能力を高めることができる。 リハビリテーション病院におけるチーム医療について理解し、望ましい協働のあり方を考えることができる。 高齢者の生活機能を維持増進するために必要なさまざまな施設・居宅サービスについて理解し継続看護の視点をもつことができる。 高齢者との出会いを契機に、自らの高齢者観を育むことができる。 高齢者の意思を尊重し、個の人間として尊厳が保たれるような行動ができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	8	48	0	0	44	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)						20	20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			20				20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)		8				8	16	
態度 (DP4-2)						16	16	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			12				12	
技能・表現 (DP5-2)			16				16	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
対象の健康障害、老性変化と生活機能との関連を十分理解し、同時に、看護方法の検討に当たっては患者及び家族の環境、主観的状态を十分考慮に入れることで、対象の尊厳を守ることができる。				対象の健康障害、老性変化と生活機能との関連を理解し、患者及び家族の思いや希望を理解している。 患者アセスメントに当たっては、高齢者特有の観察項目、情報収集が実施できる。				

患者アセスメントに当たっては、様々なツールや観察項目を駆使し、老性変化を考慮した思考過程を記述できる。				
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	老年看護学実習要項を参照			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「成人・老年看護学概論」、「老年看護方法論」、「リハビリテーション看護学」、「成人・老年看護学演習」での知識技術を習得していることを前提として、臨床場面では実践的な看護の展開を学ぶ。			
テキスト	正木治恵/真田弘美編：看護学テキストNiCE 老年看護学概論改訂第2版,南江堂 小山幸代:老年看護技術（看護実践のための根拠がわかる）,メディカルフレンド社 大淵 律子:老年看護学—老年看護の実践（ナーシング・グラフィカ）,メディカ出版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	生活機能から見た老年看護過程改訂第3版,医学書院 系統看護学講座 別巻3「リハビリテーション看護」第6版,医学書院 系統看護学講座 専門11「成人看護学 脳神経」「成人看護学運動器」,医学書院			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・老年看護学実習では、対象患者はリハビリテーション期にあり、疾患・治療の種類は様々です。また、同じ疾患・治療であっても、対象の老性変化や併存疾患、環境、価値観などから看護方法や目標の設定は対象個々に異なります。 ・対象患者についてよりよく理解する努力、そのための態度、アセスメント能力、わからないことを調べる力、丁寧な看護技術の提供が必要です。 ・また、様々な場面で患者安全を最重視して臨む必要があります。自身の健康管理に努め、真摯で前向きな学ぶ姿勢が求められます。 			
達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・別途示す「老年看護学実習Ⅰ評価表」に基づき評価します。自己評価、臨地実習指導者からの評価、実習担当教員との面談、科目責任者との面談により総合的に判定します。 ・「老年看護学実習Ⅰ評価表」評価項目には、事前学習、担当患者への看護実践、看護過程の展開、実習態度、学習活動への協調性、その他（倫理的行動、チーム医療への理解、看護観）が含まれます。 			